

(企画挨拶)研究者の芽を育む学生の研究発表

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-12-21 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 竹宮, 孝子 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10470/00033028

研究者の芽を育む学生の研究発表

竹宮 孝子

東京女子医科大学総合研究所研究部 准教授

将来の研究者育成を目指し、学生の間から研究マインドを養うことを目的として、2013年度に本学医学部3年生のカリキュラムに研究プロジェクトが導入され、これまでに5学年の学生が経験してきました。これは3年生の12月の3週間に、各自が興味を持った研究室に配属され、そこでご担当の先生方の研究に携わらせていただくものです。本シンポジウムでは、その際に学生が関わった研究について学会形式で発表を行います。

各研究室の先生方には、カリキュラム期間後も引き続き本研究発表に向けてご指導、ご準備をいただき、誠にありがとうございました。短期間の関与ではありますが、自分が関わった研究の背景、目的、方法、結果、そして考察までを考えながら手際よくまとめ、他者にわかりやすい発表の準備を行うということは、学生にとって実践的な学習となり、大変有意義な時間になったことと思われま

す。本シンポジウムにおける学生の研究発表は、今年で3回目になります。昨年、一昨年ともシンポジウムに参加した同学年の学生から「同級生の研究発表を聞き刺激を受けた、研究の発想やまとめ方が参考になった、研究に興味を持った」などの意見が多数寄せられました。これらの反応から、発表を行った学生だけでなく、同級生の発表を聞いた学生達にとっても学習意欲の向上、研究マインドの誕生・育成に役立ったことがわかります。研究に対してゼロだった学生が研究プロジェクトを通して研究に関わること、そして、本シンポジウムを機にその経験を振り返ることが、将来の研究者の芽を育てているのではないかと考えています。

本シンポジウムでの発表は学会同様に、希望する学生自らが申込みをして抄録を提出するという形式をとっています。また、学会の事前準備に準じてパワーポイントで発表スライドを作成し、女性医師・研究者支援部門の担当教職員を前に予演会も実施しています。希望者が多かったために質疑応答の時間は限られてしましますが、意欲的な学生の初めての研究発表をあたたく見守っていただければ幸いです。また、学生の皆さんは、自分自身が発表する姿をイメージしながら、同級生の研究発表を聞いてください。本研究発表が皆さんのいろいろな気づきにつながることを期待しています。